

所 信 表 明

市長三期目のスタートに当たり、私の市政に対する所信を述べさせていただきます。

この度の選挙におきまして、議員の皆様をはじめ多くの市民の皆様を支えられ、三選を果たすことができました。心から感謝申し上げます。

市民の皆様から託された二万二千二百六十四票の一票一票は、防府が一つとなつて皆様とともに進めてきたまちづくりへの評価をいただいたものであり、大変うれしく、また、重く受け止めております。

私は、市長就任当初から、未来を担うこどもたちに「住み続けたい、戻ってきたい」と、思ってもらえるまちづくりを進めることが、自らに課せられた責務であると考えています。

まちづくりは、一朝一夕には成し遂げられません。

「国、県及び市が連携し、何よりも防府が一つになれば、できないこともできるようになる。」その信念の下、走り続けてまいりました。

この八年間、防災・減災の拠点となる新庁舎の建設をはじめ、こども家庭センターの設置、農林業の知と技の拠点の誘致、国道二号富海拡幅の開通など皆様とともに防府の未来を一つひとつ形にしてまいりました。

歩みが進むにつれ、防府のまちは明るくなりました。

本市の人口も、転入超過の傾向が続いており、まちづくりの成果は着実に現れているものと考えております。

この流れを止めることなく、これからの四年間、「第六次防府市総合計画に掲げる重点プロジェクトは全て成し遂げる。」との強い覚悟をもってまちづくりを進めます。

防府の未来のため、国道二号台道・鑄銭司拡幅をはじめとする道路整備を力強く推し進めるとともに、将来の産業力強化を見据え、重要港湾三田尻中関港の整備にも道筋をつけてまいります。

そして、こどもから高齢者までが安心して暮らせる「防災都市ほうふ」の構築に力を注いでまいります。

広域防災広場と山口県立総合医療センターによる、防災・医療の複合防災拠点の整備を進めるとともに、避難所ともなる全ての小・中学校体育館の空調整備、公民館や障害福祉施設の建替えなどを着実に進めます。

災害はいつ起きてもおかしくありません。「市民の命が第一」です。災害への備えを怠らないよう常に緊張感をもって取り組んでまいります。

本市は市制施行九十周年を迎えます。

九十周年記念式典の開催や裸坊一万人プロジェクトなど九十周年に花を添える様々なイベントを皆様と大いに盛り上げ、市制施行百周年に向けたスタートを切ってまいります。

十年後の百周年に向け、明るくなった防府を、豊かで健やかな防府へと高めていかなければなりません。そのためにも、第六次防府市総合計画に掲げるプロジェクトを着実に進めてまいります。

防府が一つになって今のこどもたちが大人になったとき、「このまちが一番だ」と、胸を張って言ってもらえる防府をつくり上げてまいりましょう。

こうしたまちづくりを進める中であっても、災害や社会経済情勢の急変には、ス

ピード感をもって対応してまいります。

今般の中東情勢の緊迫化とそれに伴う物価高騰等に対しましても、防府商工会議所をはじめとする関係機関や事業所など現場の皆様の声を伺いながら、対応させていただきます。

あと四年、「明るく豊かで健やかな防府」の実現のため、市議会議員の皆様、市民の皆様、職員とともに前に進んでまいりたいと考えております。

市議会議員の皆様の御協力と一層のお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げます。また、私の所信表明とさせていただきます。